



議会だより

# とうえい



## CONTENTS

議会改革検討委員会 中間報告	.....	P2-3
一般質問ダイジェスト	.....	P4-9
追跡… あれどうなった？	.....	P9
12月定例会日程、編集後記	.....	P10

# 議員 定数

# 10人から「8人の方向」へ

～議会改革検討委員会 中間報告～

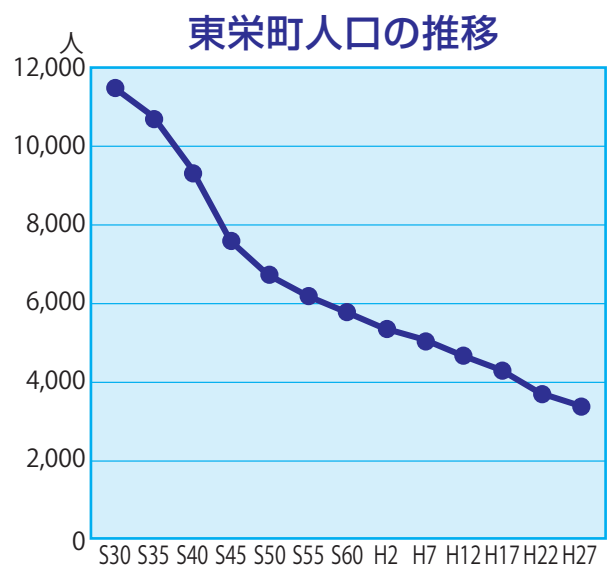
東栄町議会では、議会運営の実情と改革の方向を調査・研究するため「議会改革検討委員会」を設置し、議員定数や議会運営等について協議を重ねています。

検討にあたっては、次期議会議員選挙に大きく影響する「議員定数」を優先して検討を進めており、このたび議会改革検討委員会として、議員定数を現行の10人から2人減員して「8人の方向」とする案をまとめました。

## ◆検討の背景

東栄町の人口は継続して減少傾向にあり、平成27年の国勢調査では3,448人となっています。人口減少に少しでも歯止めをかけようと町は様々な施策を展開していますが、今後も減少が続いて行くことは否めず、町総合計画では平成37年度の将来人口の目標を2,700人としました。

このような状況の中、東栄町としてふさわしい議員定数について、町民の声や、近隣・類似規模の地方議会を参考にしながら検討を進めることにしました。



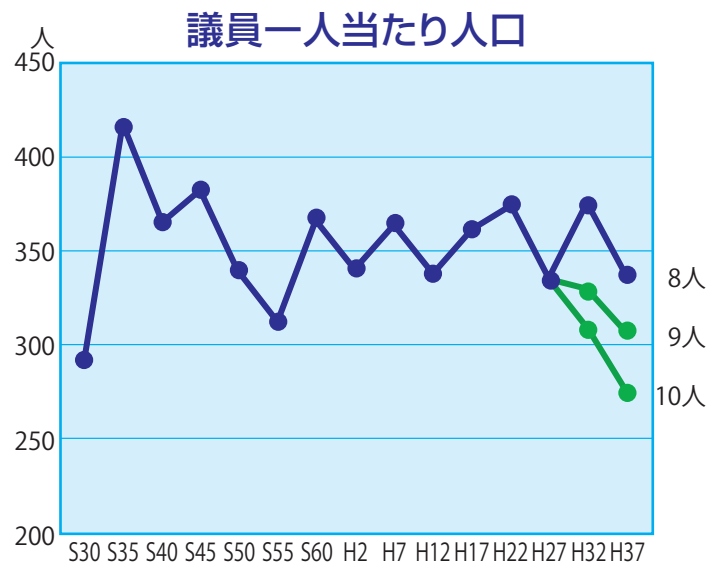
## ◆これまでの議員定数

東栄町議会の議員定数は、町村合併をした昭和30年度は40人でした。その後26人、20人、昭和58年度以降は表のとおりの変遷を経て現在は10人です。議員一人当たりの人口は、360人前後で推移してきました。

### 議員定数

年度	議員定数	国勢調査人口	議員一人当たり
昭和58年度	16人	(H2)5,441人	340人
平成7年度	14人	(H7)5,125人	366人
平成15年度	12人	(H17)4,347人	362人
平成19年度	10人	(H22)3,756人	376人
平成31年度	8人 (案)	(H32)3,000人	375人
		(H37)2,700人	337人

※平成31年度以降の人口は将来人口の目標人数



## ◆類似規模の地方議会の状況

全国の町村議会の人口規模ごとの議員定数は、次の表のとおりです。近隣町村の設楽町は人口5,769人で定数12人、豊根村は人口1,336人で定数8人となっています。

ただし、議員定数は人口規模だけに着眼して決めるものではなく、地理的条件、産業構造、町の歴史、財政規模などを総合的に勘案して検討する必要があります。

### 全国の町村議会議員定数 (第61回全国町村議会実態調査 H27.7.1現在)

人口	議会数	議員定数				
		12人	10人	9人	8人	7人
2,500人～3,000人	26	0	7	5	13	1
3,000人～3,500人	36	1	19	10	5	1
3,500人～4,000人	31	1	19	3	8	0

## ◆議論された主な論点

議員定数についての検討では、「現状維持」、「削減すべき」の両論があり、主に次のような意見が出されました。

### 現状維持

- 多様な意見を反映させるためには一定の議員数が必要
- しっかりした議論ができる人数が必要
- 少人数での議会運営は難しい
- 人口が3,000人以下になった際に再検討

### 削減すべき

- 今後も人口の減少が見込まれ、それに見合った議員数とすべき
- 財政規模等からも削減すべき
- 住民からは「削減すべき」という声が多い
- 議員の資質向上を図って減員を補う

## ◆検討委員会としての方向付け

数回に渡る検討委員会で議員定数についての検討を重ねた結果、「議員定数は削減すべき」との意見が多くを占め、定数を削減する方向を決定し、議員定数は2人減員して8人とし、次期議会議員選挙から適用するという方向付けをしました。

正式に議員定数を変更するためには、条例改正が必要になりますが、それまでに定数を削減した場合の議会構成や議会運営の方法、さらには議員定数を削減する事によって生ずる課題等の調査、検討を行って行きます。

## ◆ご意見をお聞かせ下さい

議会改革検討委員会の「8人の方向」に対するご意見、その他町議会に対するご意見等をお聞かせください。特に若い方、女性の方の意見をお聞かせください。

ご意見は文面にして議会議員、議会事務局へお願いします。FAXの場合は76-1725、電子メールの場合は件名を「町議会への意見」として [gikai@town.toei.aichi.jp](mailto:gikai@town.toei.aichi.jp) へお送りください。



議会はどのように運営されているのですか。議会の様子をもっと知りたいです。

委員会の構成はどうなりますか。私は〇〇〇〇が良いと思います。



山本典式 議員

## 総合計画におけるまちづくり

### 東栄インターチェンジ周辺整備事業と今後の財政状況の見通しについて

**問** 現在「道の駅」建設に向けての協議を進めているが、東栄インターチェンジに併せ総体的な構想又青写真を作成する必要性を伺いたい。

**答** 副町長

東栄インターチェンジの開通は、東栄町への人の流れをさらに加速させるものと大いに期待する。核となる施設として、東栄町の玄関口にふさわしい機能をもった施設を整備したい。本年度には「基本構想」を提示したい。

**答** 経済課長

青写真の必要性は感じているものの、まだ着手していない。現在は椋山女子園大学の協力のもと基本構想を検討中である。

**問** 観光の振興はまちづくりの大きな柱のひとつである。観光協会設立準備を進めているが、積極的に推進していくと思うがこの点を伺いたい。

**答** 副町長

今年度中の観光協会設立に向けて進めている。観光PRプロモーション活動や情報発信などに力を入れたい。定住促進に向けた各種支援制度の充実を図るなどソフト面の取り組みにも努めたい。

**答** 振興課長

観光協会が観光の核となり人を活かし、資源も活かせる様な企画と体験プログラムを充実していく。東栄町の良さを体験してもらい、交流から移住、定住に繋げていきたい。

**問** 移住希望者の約60%が「雇用の場」の確保をあげ大きな期待を寄せているが、この点を伺いたい。

**答** 副町長

移住定住施策を積極的に進め生産年齢人口の増に取り組む必要がある。東栄インターチェンジ効果を活かさなくてはならない。

**答** 経済課長

「総体的な構想」に雇用の場確保を盛り込んで検討を進めたい。

**問** 財政力が低下する状況の中での改善策はどうか、又各事業の財源確保はどの様に考えているか。

**答** 副町長

生産年齢人口の増を図るための取り組みが重要、早急に取り組みたい。各事業に必要な財源は、国県補助金の融資の利用、民間活力の利用など全庁的な取り組みにより確保したい。

**答** 町長

検証しながら次期の計画に向けて、財政計画を立てて進めたいと思う。



# 「地域おこし協力隊の取り組みと

## 今後の位置づけについて

**問** 東栄町の地域おこし協力隊の取り組みは4年目になる。どのような目が行われ、次年度の活動に活かされているか。

**答** 地域支援課長

「目標管理シート」「中間報告会」「年度末報告会」「本人と役場の総括」などを行い、次の年度の活動に活かしている。

**問** 協力隊員の人材育成やサポート体制が必要である。島根県の「地域おこし協力隊・心得集」協力隊事業導入のチェックシート・チェックリストなどの取り組みを学ぶ必要があると思うが、どうか。

**答** 地域支援課長

総務省などの研修と合わせて地域との関わりも

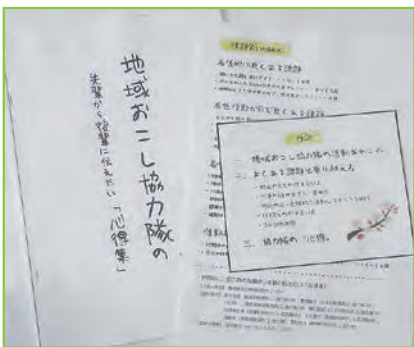
重要だと考えている。島根県などの先進事例を参考に町として導入して進めたい。県とも相談してより良い方向で進めたい。

**問** 「地域おこし協力隊」の事業に関係する研究者から「地域の生活支援」「地域のコミュニケーション支援」「起業など価値創造」へと進む協力隊員のステップアップが示されている。合わせて「地域おこし協力隊の」若者が地域を心と体に染みこませる過程が必要である」と述べている。町内の地域にとって必要な活動に協力隊員を充てていくことは検討できないか。

**答** 町長

先進地の自治体の取り組みも参考に検討したい。

地域に人材を充てるためには、それを希望する地域がないといけないのでその点も検討したい。募集の段階で行政が求めることが隊員に充分伝わらなかつたという反省点もある。協力隊員の卒業後は定任が一番良いが、そうならなくても外から東栄町をサポートしてもらいうこともある。隊員としてうらうらコミュニケーションをとって進めたい。



# 「ツキノワグマの生態把握と被害防止対策」について

**問** 7月4日に町内でツキノワグマが捕獲され、心配する声がある。昨年の一般質問で「クマの被害対策の対応を進める」と回答があったが、その後どうなっているか。役場の関係各課での対策の検討は進んでいるか。

**答** 経済課長

クマへの注意喚起のチラシは8月に配布した。予防グッズ(鈴・熊スプレーなど)は予算化していなかつたという面もあるが、配布方法も含めて必要があればスケジュールをもって臨みたい。クマ対策の検討は課長会を軸に進めたい。

**問** 県は「北設楽郡はクマの生息地であるが繁殖地ではない」としているが、対策を立てるための生息調査が必要ではないか。旧加茂郡(現豊田市)で

**答** 経済課長

クマの行動範囲は広いので、それぞれ市町村の境界を越えた取り組みも今後進めていかななくてはならない。クマ対策の広報もしっかり考えていきたい。



柴田吉夫 議員

## 本庁舎の防災対策について

**問** 東北太平洋沖地震をはじめ各地で大きな地震・風水害が発生している。本町も東海・東南海地震の被害想定区域とされており、こうした状況

下で役場本庁舎の防災対策は喫緊の課題である。現役場庁舎について「耐震化」か、それとも「新庁舎建設」なのか。

また、従来実施している避難訓練は、実施しないのが質問する。

**答** 総務課長

本庁舎の防災対策は

「新庁舎建設」の方向で検討したい。本町の防災計画修正を策定する中で庁舎の防災対策も併せて検討する。町防災会議に諮り方向付けする。

避難訓練については、従来実施している町内一斉の情報伝達訓練は本年度実施しないが、各地区自主防災会単位での訓練には役場職員も要請があれば参加させる。役場職員を中心とした災害対策本部強化訓練は、別途実施する。

## 東栄病院の施設整備他について

**問** 平成24年度「東栄町医療のあり方検討会」、平成26年度「東栄病院整備検討委員会」、平成28年度「地域包括ケア検討委

員会」で議論され、結果を含めその内容は執行部に報告されている。以下質問する。

(1) 東栄病院の施設整備

(イ) 病院の全面改修について(ロ) 病院の施設規模について(ハ) 財源について(ニ) 病院の整備場所について(ホ) 時期(改修着手)について(ヘ) 整備に向けての住民周知について(2) 現在の指定管理者(せせらぎ会東栄病院)との協議は整っているか。

**答** 町長

「目指すべき地域包括ケアシステム」を維持するため「医療は欠くことができないものであり、病床を含めて維持を図る。」とした答申を頂いている。

こうしたことから(イ) 病院施設は建て替える。(ロ) 施設規模は20床から40床で検討する。(ハ) 財源は病院建設基金、病院特別会計留保財源、交付金、補助金と起債の必要が生じると考えている。(ニ) 整備場所、(ホ) 時期(着手時期)については現段階では申し上げられないが、9月中旬病院内に準備室(行政・病院・社

協・福祉事業所等による)を設置し早急に検討したい。(ヘ) 住民周知については、周知の機会を作って報告したいと考えている。

(2) 現在の指定管理者(社会医療法人財団せせらぎ会東栄病院)との協議については、本年度末が契約最終年度となっており現在協議中である。

(3) 地域包括のイメージについては、「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」第二条に基づき医療、保健予防、住まい、介護、生活支援、福祉サービス等限られた資源を効率的に利用し、自助、互助、共助、公助によって包括的に支援確保を推進し、次の世代に繋いでいく町づくりの仕組を整備するものである。

**問** 財源について確認したい。地域再生戦略交付金について。

**答** 振興課長

地域再生戦略交付金は、平成28年度から地方創生推進交付金制度へ改正

され原則ソフト事業が対象となったため、ハード事業である病院施設整備には活用できなくなった。

**問** 防災対策は、町民の生命・財産の補完に

係わることで、医療施設整備等は町民の健康管理・予防・介護等年齢の枠を超えた重要事項である。病院の指定管理についても今後の人口動向、社会情勢に鑑み契約年数の見直しも検討すべきである。こうしたことを踏まえ、遅滞無く、迅速・機敏に行政処理をされるように指摘する。



# 将来に負担を残さない財政運営を

**問** 決算書の意見書は「問題なし」、財政健全化判断比率及び資金不足比率も「全く問題なし」と報告したが、将来負担比率はさらに悪化している。

さまざまな事業で「町民生活になくはならない事業、ないよりあったほうがよい事業、なくても町民の生活に影響しない事業」を仕分ける必要がある。近年の様々な事業も、本当に町民が必要としているものだったか。

例えばタブレット端末の購入。お年寄りや家族の不安を解消する名目で、21台の端末とパソコンを400万円余で購入し、一時はマスクミで、素晴らしいことが行われていると報道されたが、ほとんど使用されることはなかった。事業は失敗ではなかったか。あのタブレットは、どのようになっているか。

町内の宿泊施設は、さらに開設、設備投資、修繕工事をして赤字経営を続けるが、町民の生活になくはならない施設か。なくとも全く影響しない施設か。赤字でも経営を続けるのはだれのために行うのか。

また、各種団体に税金を補助金として支払い続けているが、使い方、使われた金額、効果を検証しているか。

例えば、商工業は規模縮小や廃業で、年々規模は縮小しているが、補助に、変化はあるか。近隣と規模、交付要綱等比較検討しているか。

町民の大事な財産である補助金のすべてについて、どこの誰にいくらのように使われ、その効果は町民の生活にどのように反映されるか、公表・公開すべきと考える。

本年度、公共施設管理等総合計画を策定するが、

すべての施設計画が策定できなければ判断しないのか。1日も早く、それぞれの施設の効果について町民の生活に必要なか、必要でないか判断・実行することが、財政再建の最短距離ではないか。開所したばかりの建物でも、1日も早く決断し赤字を少しでも少なくすることが求められていると思うが。

は監督し、完了時はその実績や効果について報告を受け、次年度の補助の扱いに反映するが、更に透明性を持たすために、公表の仕方は、ホームページを活用するなど前向きに検討する。

**答** 総務課長

依然として厳しい財政状況が続いている。将来も安心して暮らすために財源の確保は喫緊の課題である。収入財源確保に取り組み、歳出の厳密な精査が必要で、内容や効果の確認、仕分けをして予算化する。

経済団体の補助金は、内容を精査、事業執行中



## ラジオ放送が受信できる地域に

**問** 町内で移動しながらラジオを聞くことのできる放送は、NHKのFMだけである。

ラジオは目の離せない作業中でも移動中でも少ない費用で最新の情報を得ることのできる手段である。

いつ起こっても不思議でない地震の緊急地震情報も伝達するラジオが、安

定して聞くことができるように検討できないか。

**答** 振興課長

ラジオ放送は、インターネットを通じて聞くことは可能だが、インターネットが整っていない世帯も多く、光ファイバー網が切断される恐れもある。災害時に正確な情報が収集できる環境整備を推進する。

伊藤紋次 議員

## 職員の定数管理と人材育成を質す

**問** 今年度機構改革が行われたが、職員の定数管理と適正配置には、どのような姿勢で臨んでいるか。

**答** 総務課長

定数については、町条例により管理されており、4月の機構改革は、事務の効率化や課のスリム化を目的に実施した。職員の配置は、一律に増減するのではなく、メリハリのある配置を心掛けている。

**問** 職員の資質の向上・人材育成の面からどのような「研修」を実践しているか。

**答** 総務課長

年度当初に年間計画を策定し、一般研修、専門研修、派遣研修、内部研修等を実施している。

**問** 今年度から人事評価制度が導入されたが、何を期待し、何に反映させていくのか。

**答** 総務課長

本年度は試行で次年度以降本格実施する。人材育成を目的に導入し、人事管理に反映させるのが目的である。

**問** 保育園の調理室が未だにエアコン未設置であり、食品の衛生管理、職員の労働環境の点からも喫緊の課題であると思うが、見解を伺いたい。

**答** 住民福祉課長

本年度中に保育園整備の方針を出したい。

**問** 早期改善が見込めぬなら保育園の給食も「センター方式」は取れないか。

**答** 住民福祉課長

保育園は「自園調理」が原則であるので、センター方式は考えていない。



本郷保育園調理室

**問** 「北設楽郡創造計画」の達成状況、評価を問う。

**答** 振興課長

この計画の数値目標は、三町村共通のもので、それぞれ人口の社会増減を59人減から30人減に、医療機関は1病院・4診療所体制の存続、主要観光施設の入込客数は、126万人を139万と設定している。

平成27年度の状況は、社会増減は99人減、医療機関は5機関を維持、主要観光施設の入込客数は138万人で、医療機関の存続と観光施設の入込客数は、ほぼ達成しているが、社会増減は悪化しており、5段階評価をすれば、人口の社会増減は3、医療機関の存続は5、入込客数は5と評価している。

**問** 「空き家台帳」の整備状況、「集落カルテ」の進捗状況を問う。

**答** 地域支援課長

「空き家台帳」はデータベースをまとめる作業を行い、「集落カルテ」は、作成方針、活用方法を検討している。

**問** 移住促進、看護介護職の確保に「シングルマザー」の採用を提案したが、採用に反映しているか。

**答** 総務課長

有効な手法とは思いますが、採用枠の確保はしてない。

## 北設楽郡創造計画の評価及び事務事業の進捗状況を問う



# 河川環境の保全と回復に向けて (観光側面から)

**問** 観光協会の設立に向けて、様々な取組みが展開されているところであるが、本町の観光資源の一つでもある河川について質問する。

水資源開発による環境変化が、生態系にも大きな影響を及ぼしていることは否定できない。夏の風物詩でもある鮎の釣りも近年、釣れないとの声が多く、現に漁協の経営状況も危機的状況にあると言われている。その原因を考えると、現在放流されている稚魚は、複数回交配を繰り返したもので、縄張りを持たない鮎となつていると考えられ、これを回復させるには、素人考えではあるが、原点に戻って琵琶湖産の稚魚、あるいは県水産試験場の第1世代の稚魚に戻すのが最善の策かと思うが、冷水病のリスク更にはコストも現在の倍程かかるとの事で、

漁協単独では手を出せない状況である。

漁協のみに河川環境保守を押しつけるのではなく、町としても協力体制を築き、継続した支援をすることで、鮎の壊滅を阻止すべきと思う。

鮎釣り人口の減少や組合員の高齢化等、漁協運営にとつて厳しい要素も多々あり、これらの課題を町全体で共有し、観光という側面からも河川環境の回復に臨むべきと思うが、執行部の見解を問う。

**答** 経済課長

鮎釣りの本場として大千瀬川の魅力は、古くから広く語られてきたところであり、これを管理する振草川漁協が、諸問題を抱えていることは承知をしている。町としても、大千瀬川の持つ様々な魅力は、観光面を含めた地域の資源として重

要であると考えている。

漁協に対しては、従来より釣り大会の補助、月川特1号の補償、仮設トイレ設置費を予算化しており、更に今年度からは稚魚放流事業への補助、草刈り等河川環境保護事業への補助等、その助成にあつているところであるが、抜本的な解決に結びついていない現状にある。

今後、振草川漁協役員と町執行部との話し合いを持ち、この場で問題点を洗い出し、課題解決に向けた方策の検討がなされる。この議論を踏まえ、行政として何ができるのか充分検討したうえで、次年度以降に向けた取り組みを考えてまいります。



## 追跡

あれどうなった？

「ふるさと納税」を活用する考えは？  
(平成28年6月議会他)

**答 弁**  
「ふるさと納税検討チーム」を立ち上げ運用を検討する。

町内特産品を返礼品とする予算案を9月臨時会で可決。  
今月から開始し、還元率は30〜40%。



# 町議会を傍聴しませんか

議定例会は、初日の本会議で議案が上程され、2つの常任委員会の審議を経て、最終日の本会議で採決されます。

また、町政全般の事務や、将来の方針などの説明を町に求める「一般質問」も行われます。

本会議、委員会は役場2

階の会議室で行われ、会議の様子はどなたでもご覧いただけます。

「傍聴者受付」でお名前等を記入して資料を受け取り、傍聴席で会議の様子をご覧ください。

なお、録音、写真撮影等のご遠慮いただいておりますのでご了承ください。



傍聴席

## 平成28年12月定例会の開催日程(予定)



12月定例会は、  
**12月5日(月)から  
12月14日(水)**  
までの会期で  
開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

12月 5日(月) 本会議(提案説明・質疑・委員会付託)

12月 6日(火) 一般質問

12月 7日(水) 文教福祉委員会

12月 9日(金) 総務経済委員会

12月14日(水) 本会議(委員会報告・討論・表決)

### 編集後記

今年も和太鼓「絆」交流プロジェクト、チエソアート in 東栄、星野おんがく祭、町民体育祭等々何れのイベントも大盛況・大好評裡に終了しました。

そして冬の風物詩「東栄フエスティバル」と花祭の季節が巡ってきました。

皆様のがんばりで、昨年以上の盛り上がりを見守ります。

昨年のNo.12号では、議会改革の第弾として議会だよりを「刷新」してお届けしました。今回は、第二弾「定数の削減を特集しました。

皆様と議事を繋ぐ紙「面づくり」は、議会の活性化に重要なことだと思えます。更に親しまれる議会だよりを目指します。

皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。(紋)

#### 編集委員会

委員長 峯田 明  
副委員長 山本 典式  
委員 伊藤 紋次  
委員 森田 昭夫  
発行責任者 長 原田 安生



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と環境に優しい植物油インクを使用しています

発行/東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0356-76-0505